

カロリーナ ムニョスによる

### 経歴概要声明

私はチリのソーシャルワーカーで、チリ教皇立カトリック大学 ( PUC ) に所属しています。アメリカのボストン大学でソーシャルワーク修士課程を、イギリスのバーミングハム大学で博士課程を卒業しました。その



他の国々における在住経験によって、世界中の人々の気質の高さと無価値さをよりよく意識するようになりました。そして、これらの経験のため、社会変容に対してより強い使命感をもつようになりました。

現在、PUC においてソーシャルワーク校 ( SSW ) の学長をしています。IASSW には様々な形で関わってきました。2010 年より出版委員会の委員、2014 年より学術誌の編集委員会の委員を務めてきました。今年より、グローバル倫理対策委員会に参加しています。国内レベルでは、2015 年にチリ SW 学校連盟の理事会の起動に貢献し、チリのソーシャルワーク研究ネットワーク協議会にも参加しています。

子どもと家族の権利に対して熱意をもっており、ボストンで AIDS 発症の母親たちの実践をしてきました。チリ政府の下で、学校中退者を減らすために取り組ん

できました。ユニセフの相談役として、子どものための国家計画の社会化をリードしてきました。2003 年より、チリで我がソーシャルワーク校の教員陣の一人になりました。

### カロリーナ ムニョスの声明文

国際ソーシャルワークと IASSW の活動に強い関心をもっています。グローバルなレベルでソーシャルワーク教育及び研究を推進するという IASSW の理念に魅力を感じており、世界の全ての地域の加盟を実現するという IASSW の目標の達成促進を目指します。スペイン語と英語とも流暢に話せます。言語の壁を理由に、ラテン・アメリカはソーシャルワーク教育者のグローバルなコミュニティからかなり周辺化されてきました。IASSW 理事会における立場を利用して、この傾向を逆転させ、発展途上国をより大きな規模で巻き込むために努力したいと思います。私のビジョンでは、質の高いソーシャルワーク教育及び研究に貢献し、ラテン・アメリカの経験を共有し、ベスト・プラクティスから国際的に学び、IASSW の会員の幅を広げ、IASSW の諸活動への IASSW 会員の有意義な参加と包摂に向けて努めたいと思います。

ソーシャルワーク教育・研究・実践、そして国際的なソーシャルワーク・コミュニティとの協働を通じた社会変容に対して強い使命感をもっています。国際的な研究を背景にもち、国際的なイベントへの参加歴はこれらの目標の達成促進に向けて役に立つでしょう。IASSW・IFSW・ICSWによるグローバル・アジェンダのビジョン、目標、戦略を完全に支援したいと思います。

この観点から、抑圧と格差の根本的な原因に働きかけるように、世界中の取り組みを統一するための適切な場としてIASSWを捉えています。特に、ラテン・アメリカ諸国は、IASSWにおいて、とりわけ格差と人々の終焉化を訴えると共に長い独裁政権を経て民主主義を取り戻すために行った取り組みを示して普及させること、現在において本地域で多くの国々の首脳ともなっているように女性にパワーを与えること、そして貧困と排除の改善に向けて草の根の組織を推進することにおいて、重要な役割を果たし得ると信じています。

これらの目標は、「社会的及び経済的平等の促進」、「人々の尊厳や価値の促進」、「環境の持続可能性に向けた取り組み」、「人間関係の重要性への認識強化」というグローバル・アジェンダの中核的なコミットメントと一致しています。ラテン・アメリカが国際的なレベルで学べること、また共有できることがたくさ

んあり、そしてより包摂的な理事会はこれらのプロセスに重要な影響を与えてくれるでしょう。